

1. 件名：福島第一原子力発電所における高性能容器(HIC)内スラリーの移替え作業に関する面談

2. 日時：令和4年1月27日(木) 10時00分～11時25分

3. 場所：原子力規制庁18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、岩永企画調査官、知見主任安全審査官、

高松専門職、久川係員

高木技術参与(テレビ会議システムによる出席)

福島第一原子力規制事務所(テレビ会議システムによる出席)

小林所長、黒川原子力運転検査官、坂本原子力運転検査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当3名(テレビ会議システムによる出席)

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、高性能容器(以下「HIC」という。)内スラリーの移替え作業について、資料に基づき以下の説明があった。

- 低線量 HIC 2 基目内部調査結果について
- 低線量 HIC 2 基目移替え作業時の被ばく線量について
- 高線量 HIC 移替え作業のうち、HIC 蓋開閉作業時の線量低減対策について

- 原子力規制庁は、上記説明内容を確認するとともに、以下のコメントを行った。

- 今後取り扱う高線量 HIC に関して、スラリーの拔出可否やダスト対策を検討するにあたっては、低線量 HIC 1 基目及び 2 基目で取り扱ったスラリー量を把握しておくことが重要であると考え、低線量 HIC 1 基目及び 2 基目の移替え前後での HIC 表面線量率の比較から移し替えたスラリー量を推定すること等、スラリー量に関する評価についても実施すること。
- 高線量 HIC 移替え作業における安全対策を検討するにあたっては、HIC 蓋開放作業以外の作業についても低線量 HIC 2 基目の移替え作業の結果を踏まえた評価を示すこと。
- 移替え元 HIC 底部に残るスラリーの今後の取り扱いについて整理して説明すること。

6. 資料

HIC スラリー移替え作業の状況